

子どもからの意見聴取の取組

子どもワークショップ シーズン2の実施状況

回	日時	参加者数	主な内容	場所
第1回	令和6年3月24日(日) 9時30分～12時30分	40名	子どもの権利について考えてみよう	杉並区役所
第2回	令和6年4月21日(日) 9時30分～12時30分	38名	条例と子どもの権利、子どもの居場所について	
第3回	令和6年5月12日(日) 9時30分～12時30分	33名	子どもの居場所について～マップづくり～	
第4回	令和6年6月1日(土) 14時～17時	33名	子どもの権利、子どもの権利条例について（大人の役割）	
第5回	令和6年7月14日（日） 9時30分～12時30分	30名	答申について、子どもの居場所づくり基本方針について	
第6回 （予定）	令和6年7月28日（日） 9時30分～12時30分	－	まとめ発表の準備	
発表 （予定）	令和6年8月4日（日） 14時～16時	－	まとめ発表	

すぎなみくこ シーズン
 杉並区子どもワークショップ 2
 だいいかい じっしないう
 第1回の実施内容について



れいわ ねん がつ にち じっし すぎなみくこ シーズン だいいかい ないよう ほうこく
 令和6年3月24日に実施した「杉並区子どもワークショップ 2」第1回の内容について、報告します。

1 子どもの権利について考えてみよう!!!

だいいかいこ
 第1回子どもワークショップでは、前半に、東京経済大学教授 野村武司先生（杉並区子どもの権利擁護に関する審議会会長）に講義いただき、子どもの権利について考えました。



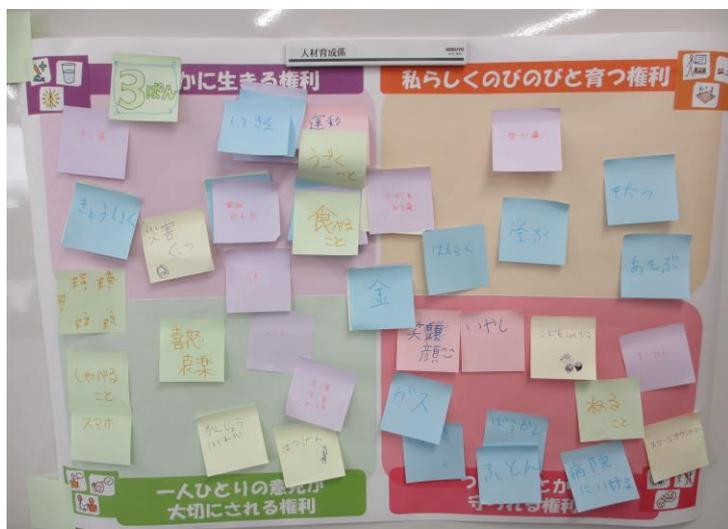
のむらせんせい ひと けんり じんけん
 野村先生：人には権利（人権）がありますか？

みんな：ある！

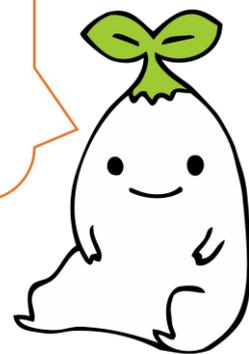
のむらせんせい あか ちゃん と からだ おお ちからち
 野村先生：赤ちゃんと身体が大きくて力持ちの
 おとな では、どちらの権利が重いかな？

みんな：「同じ！」「平等！」

のむらせんせい けんり けんり わたし う
 野村先生からは、「権利」とは、「私たちが生まれ
 たときから、当たり前（あたりまえ）に生きるためにもっている
 もの」であり、子どもがもつ4つの権利「生きる
 けんり ぞだ けんり さんか けんり まち けんり
 権利」「育つ権利」「参加する権利」「守られる権利」
 があるんだよ、というお話がありました。



みんなが考える「あたり
 前にもっているもの」とは
 なにかを付箋に書き出し、
 4つの権利のどれに当ては
 まるか考えたよ。



つぎに、「公園に一つしかないブランコをみんなが使いたいと思っている場合、誰にどのような権利があるのか」という、もう少し身近な場面から権利について考えてみました。

問題1 「Aさんは、公園に一つしかないブランコに乗っています。Aさんにはブランコに乗る権利がありますか。」

問題2 「Aさんは、公園に一つしかないブランコに乗っています。次にブランコに乗りたいBさん、Cさん、Dさんがやってきました。Bさんにはブランコに乗る権利がありますか。」

問題3 「次にブランコに乗りたいBさん、Cさん、Dさんがやってきました。あなたがBさんだったら、どうしますか？ 理由は？」

問題4 「Aさんは、気にせず、ずっとブランコに乗っています。あなたがAさんだった場合、どうしますか？ ①すぐにかわる ②すこしのってからかわる ③ かわらない その理由は？」

これらの問いに対し、班の中で話し合い、出た意見を全体で共有しました。

みんなから出た意見

①すぐにかわる

- Bさんにもブランコに乗る権利があるから
- 小さいころから順番で交代してきたから
- もめるのはめんどくさいから など

②すこしのってからかわる

- Aさんにもブランコに乗る権利があるから など

2 杉並区子どもワークショップ 1 発表リハーサルの見学・交流

ワークショップの後半は、去年の11月から始まった杉並区子どもワークショップ 1の参加者が、区長や子どもの権利に関する条例について話し合っている会議（審議会）の委員に3月30日に発表するときのリハーサルを見学しました。発表を聞いてこれまでに行ってきたこと、日常の「変だな」「いいね」のエピソードを集めて「なにそれな?! すごろく」を作ったことがわかりました。



発表では、ワークショップに参加しようと思ったきっかけや参加して印象に残ったこと、杉並区を子どもにやさしいまちにするためにどのようなことが大切と考えているか、などをインタビュー形式で発表していたよ。

リハーサルを見学したあとは、シーズン1とシーズン2の参加者が混ざった班に分かれ、シーズン1の参加者が作った「なにそれな?! すごろく」をしました。



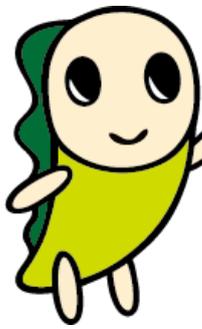
「なにそれな?! すごろく」とは、杉並区子どもワークショップ1の参加者が作ったすごろくで、楽しみながら子どもの権利と日常を関連づけて考えることができるゲームなのじゃ



「なにそれな?! カード」には、シーズン1参加者が集めた、学校や家などの身近な場所で「なにそれ?!」「それな!」と思うことが書かれています。すごろくのマスに沿って、お題に答えたり、「なにそれな?! カード」や「子どもの権利条約カード」を読み上げたり、どの班もみんなで盛り上がり楽しんでました。

3 閉会

最後に、「子どもの権利条約」「子どもの居場所」についてみんなの意見を聴きたいことをお伝えし、第1回子どもワークショップは閉会しました。



すぎなみくこ シーズン
杉並区子どもワークショップ 2
 だい かい じっしないう
第2回の実施内容について



令和6年4月21日に実施した「杉並区子どもワークショップ 2」第2回の内容について、お知らせします。

■参加者：38名

■ファシリテーター（進行役）：第1回目と同じ、東京経済大学教授 野村武司先生（のむさん）です。

■当日の様子：

前半は学年（世代）混合で、後半は小学生と中・高校生世代で、3～5人ずつ10グループに分かれて話し合いをしました。各グループには、区の職員や野村ゼミの大学生等の計2名の大人が入りました。

1 前回やったことを思い出そう!!!

アイスブレイクとして「テンションの上がる夕飯のメニュー」をみんなで発表した後、まず第1回ワークショップで学んだ『子どもの権利』ってなんだろう？の復習をしました！
 のむさんから前回学んだことの説明を聞きながら、2つのテーマについて自分の考えや思いを付せんに書きました！

参加したみんなが
 付箋に書いた2つのテーマ
 「大人と子ども
 同じところ、違うところ」

1 大人も、子どもも●●だ。（●に入る言葉は何だろう）
 → 「平等、権利がある、人間」 などなど

2 大人は■▲だけど、子どもは▲▲だ。（■、▲に入る言葉は何だろう）
 → ■「仕事、お金がある、政治に参加（選挙に行くことが）できる」
 ▲「学校、お金がない、政治に参加（選挙に行くことが）できない」
 などなど



◆のむさんによる復習



◆テーマに沿って、付箋に記入



◆書いた内容をみんなで共有！

復習クイズ！



●「子どもの権利」ってなんだろう？

ワークショップでも同じ質問をしたよ

右の〇〇にはそれぞれどんな言葉が入るかな？

答えは このお知らせのどこかに書いてあるよ

○には、ひらがなが入るよ！



〇〇〇〇 権利
 ⇒すこやかに 〇〇 権利

〇〇〇〇 権利
 ⇒私らしくのびのびと 〇〇〇 権利

〇〇〇〇〇 権利 =
 ⇒一人ひとりの意見が大切に
 される権利

〇〇〇〇〇 権利 =
 ⇒つらいことから 〇〇〇〇 権利

2 条例と子どもの権利 ～ 大人が考えた「子どもの権利」を見てみよう ～

次に、区が子どもの権利をより守っていくために作ろうとしている「子どもの権利に関する条例」の説明を聞いて、身の回りのきまりを考えたり、子どもにとって大切な権利について参加者同士で話し合うワークを行いました。

●「条例」ってなに？

最初に「条例」とは何なのか、のむさんが説明してくれました。



条例とは 区が決める「きまり」
みんなの周りにはどんな「きまり」があるかな？

●「きまり」を探そう

身の回りにどんな「きまり」があるか、みんなで考えた後、発表しました。

みんなの身の回りにある「きまり」

- 廊下を走らない！
- 校則で指定されている髪型、髪質にするのに申請がいる。
- ごはん中にスマホを触らない。
- 登下校の時間が決まっている。
- 登下校する時、靴が指定されている。
- 暴力をふるっちゃいけない。
- 上履きを履かなきゃいけない。
- 体育の時に着ちゃダメな服装がある。(フード付きの服等)

みんなが出してくれた「きまり」は「～してはいけない」というもの、ばかりだったよ！

でも・・・

ポイント！



杉並区が作ろうとしている、「子どもの権利に関する条例」は、

区が子どもに約束をするきまり

子どもが「〇〇できる」ということ、つまり“権利”を守ることを約束するよ

悩みなみすけ...

じゃあ、何を約束してくれるの？



●区が子どもに約束するきまり(条例)のなかの「子どもにとって大切な権利」について考えてみよう！

条例やきまりについて学んだ後は、大人*が考えた「子どもにとって大切な権利」についてワークシートを使いながらグループで話し合いをしました。



(*子どもの権利擁護に関する審議会委員)

「子どもにとって大切な権利」(大人が考えた案)

- ① 安心して生きる権利～ 子どもは、安心して生きることができます。～
- ② 自分らしく生きる権利～ 子どもは、自分らしく生きることができます。～
- ③ 育つ権利～ 子どもは、のびのびと育つことができます。～
- ④ 意見を聴かれる権利～ 子どもは、一人ひとり思い、考え、意見が大切にされます。～
- ⑤ 守られる権利～ 子どもは、つらいことから守られます。～
- ⑥ 個別の必要に応じて支援を受ける権利～ 子どもは、個別の置かれた状況に応じ、必要な支援を受けることができます。～

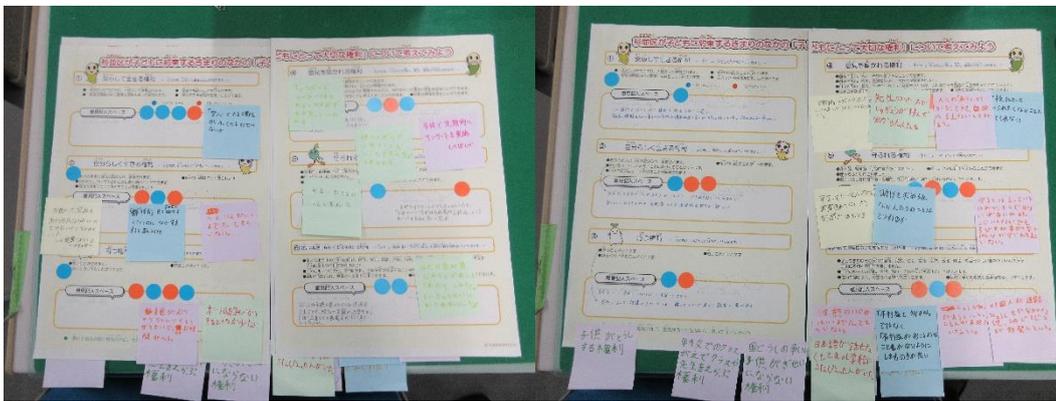
ワークでは、それぞれの権利について、

● 「良いと思うもの」には、青いシール

● 「意見を言いたいもの」には、オレンジ色のシール

を貼り、それぞれ、「良いと思った理由」「意見を言いたい内容」を、ワークシートに書きこんでいきました。

書いてある権利以外で、大切だと思うものについては、付せんを書いてワークシートに貼りつけました。



(各班のワークシート完成品 ※ 一部抜粋)

3 子ども居場所について

次に、「子どもの居場所」についてみんなに考えてもらうため、4つのワークをしました。

● 「居場所ってなんだろう？」(1つ目のワーク)

最初のワークでは、「居場所にいると〇〇だ」の「〇〇」を考え、自分の気持ちや考えを付せんに書きました。



自分の気持ちや思いを書いた
あと、グループで仲間集め♪

他のグループでは
どんな意見が出ているのかな



みんなの意見を一つのホワイトボードで仲間集めました。



「居場所にいると〇〇だ」(一部抜粋)

(居場所に関する思いや気持ち)

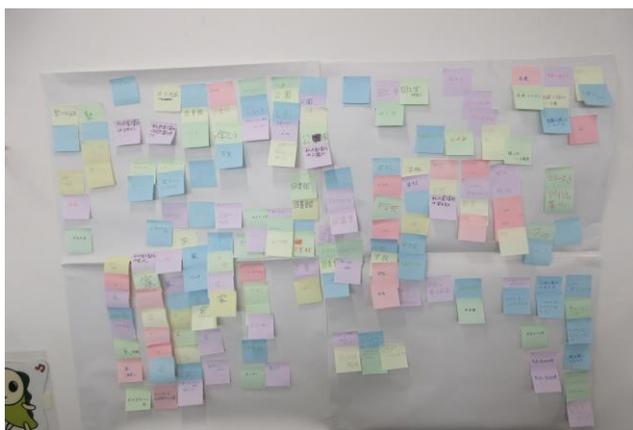
- 安心する
- 楽しい
- 落ち着く
- リラックスできる
- 自由
- つまらない
- がんばれる
- 自分らしくいられる
- 疲れる
- しあわせ
- 楽
- あきる
- 眠くなる
- 安全
- ひま
- 笑顔になれる

● 「居場所ってどこだろう？」(2つ目のワーク)

次のワークでは、「私の居場所は〇〇だ」の「〇〇」を考えました。

1つ目のワークと同じように、まずは自分の居場所の「〇〇」を付せんに書いたあと、グループのみんなで共有し、全体で仲間集めました。

のむさんから、居場所は具体的な場所でもいいし、「〇〇の時間」といった場所ではないものでもいいよ、というお話がありました。



「私の居場所は〇〇だ」(一部抜粋)

- 家
- 部活
- 友達
- △△をしている時間
- 布団・ベッド・寝ている時間
- 児童館・学童クラブ
- 学校
- 推し・推しがいる場所
- 友達と話す時間・友達のとなり・友達の家
- △△：サッカー、好きなこと、ご飯を食べる、音楽を聴く、絵を描いている
- 図書館・図書室
- 公園

● 「〇〇は居場所になっているか」(3つ目のワーク)

2つ目のワーク「私の居場所は〇〇だ」では、みんなたくさんの意見を出してくれました。

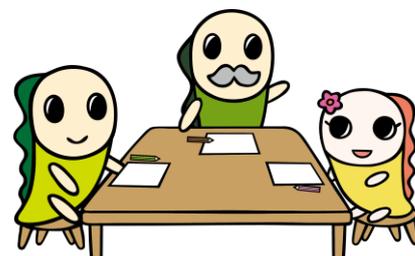
その中でも意見の多かった「家」「学校」「児童館・学童クラブ」「公園」「図書館」を選び、そこが「居場所になっているか」を考えました。

それぞれのグループで「家」「学校」「児童館・学童クラブ」「公園」「図書館」の中から3つ選んで、

◆〇〇は「居場所」になっている部分がある！なぜなら・・・

◆〇〇は「居場所」になっていない部分がある！なぜなら・・・

を考えました。



みんながたくさん意見を出し合いました。



◆みんなで話し合い

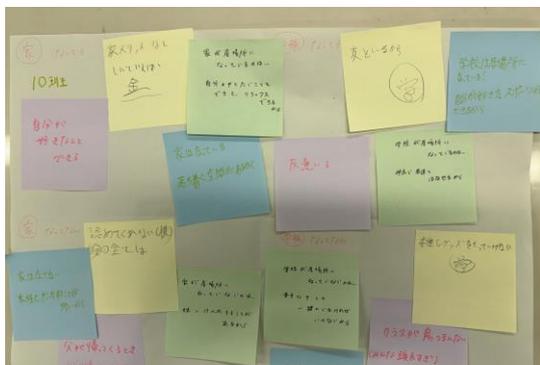
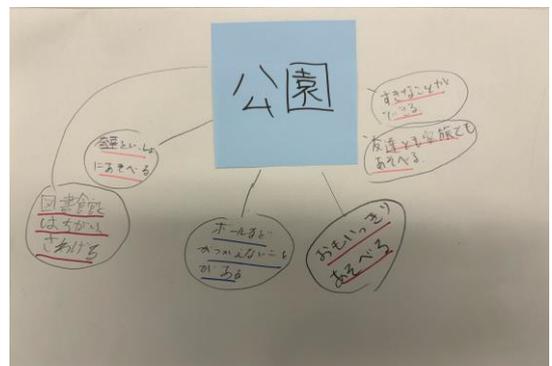
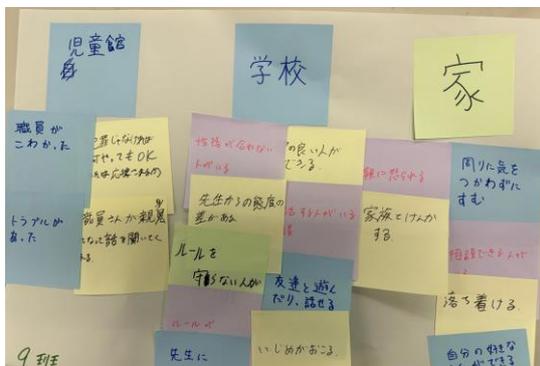


◆ほかのグループにも共有



◆シートに貼り付けてまとめたよ！

みんなから出た「〇〇が居場所になっている部分」「〇〇が居場所になっていない部分」の理由（一部抜粋）



いろいろな意見が出たね！



そのほかの意見は…

- 「居場所になっている部分」(一部抜粋)
- 学校…友達がいる、部活やクラブ活動ができる、いやなことがあったら先生が注意してくれる
 - 児童館・学童クラブ…いろいろな人と遊べる、家ではできない遊びができる

- 「居場所になっていない部分」(一部抜粋)
- 学校…集団行動が苦手、先生のペースがある
 - 児童館・学童クラブ…遊ぶ時間を守らないといけない、低学年が多い

●「理想の居場所を描いてみよう！」(4つ目のワーク)

今までのワークで話し合ったことを踏まえて、「理想の居場所」の絵を描きました。

あったらいいな…と思う居場所を、一人ひとり自由に考えて描きました！

過ごしたい居場所が、具体的にイメージできたかな？



4 最後に

今回は、「子どもの権利」「居場所」について、グループワークや発表を通して理解を深めました。

第3回の子どもワークショップでは、「子どもの居場所」について、さらにワークをする予定です。

*クイズの正解：上から順に「いきる(生きる)」「そだつ(育つ)」「さんかする(参加する)」「まもられる(守られる)」



令和6年5月12日に実施した「杉並区子どもワークショップ 2」第3回の内容について、お知らせします。

■参加者：33名

■ファシリテーター（進行役）：第1、2回目と同じ、東京経済大学教授 野村武司先生（のむさん）です。

■当日の様子：

前半も後半も、それぞれ小学生と・高校生世代で、3～4人ずつ10グループに分かれて話し合いやワークをしました。各グループには、区の職員や野村ゼミの大学生等の計2～3名の大人が入りました。

1 はじめに

- 🍎 アイスブレイクで「お金集めゲーム」をしました。
子どもは1人3万円・大人は1人1万円のおもちゃのお金を持って、会場全体を歩きまわり、相手を見つけてじゃんけん！
勝ったらお金をもらい、一番お金持ちになれるのはだれだ!?というゲームでした。
子どもも大人も、みんなで盛り上がりました！
- 🍎 アイスブレイクの後には、班で自己紹介をして、前回の内容について振り返りをしました。

いちばん かね あつ したこは、
一番お金を集めた子は、
8万円になっていたよ！



2 「子どもの居場所じまん大会」！！

最初のグループワークでは、「子どもの居場所じまん大会」をしました。

ミッション 外国から子どもがやってきたよ。次の場所がどんなところか説明して、こんなに良いところだとじまんしよう！
【居場所】児童館（ゆう杉並含む）、公園、図書館



- 🍎 最初にじまんしたい居場所を選んで、チーム分けをしました。
- 🍎 一人ひとりがその居場所がどんなところで、どういうところがじまんでできるかを考えて、チームのみんなと共有しました。



なに
何をじまん
しようかな？



🍎 みんなが考えた内容は…

◇ 児童館

- どんな場所？…無料で遊べる、子どもが集まる、にぎやか、遊具や漫画・ボードゲームがある など
- じまんしたいところは？…スポーツやゲームができる、学習できる、ちがう学校や学年の子と仲良くなれる、イベントがある、ピアノが弾ける、工作できる、ゆう杉並では本格的なスタジオでバンドの練習ができる など

◇ 公園

- どんな場所？…自由に遊べる、木や虫がいて自然豊か、遊具がある、ベンチ・トイレがある など
- じまんしたいところは？…友達と遊べる、運動できる、地域のみんたと仲良くなれる（地域の活性化につながる）、誰でも利用しやすい、のんびりできる など

◇ 図書館

- どんな場所？…本がたくさんある、静か、無料で利用できる など
- じまんしたいところは？…自由に座っていろいろなジャンルの本が読める、バリアフリー、静かで心が落ち着く、雨の日も楽しめる、自習できる、カフェが利用できるところもある など

🍎 子どもの居場所じまん大会！！

ジェスチャーや寸劇を入れて外国の子どもにもわかりやすく説明したり、特にアピールしたいところを大きな声で強調したりと、みんな工夫しながら全力で居場所をじまんしました！



3 「居場所どこにある？」～マップづくり～

次に、ミッション1～3のとおり、居場所のマップを作成し、マップから感じたこと・見えてきたことを班ごとに発表しました。

ミッション1 居場所の住所や地図上のヒントをたよりに、杉並区の白地図から次の居場所を見つけ、シールを貼ろう！

- 🍎 ① 児童館・ゆう杉並
- ② 子ども・子育てプラザ、図書館
- ③ ボール遊びができる公園
- ④ 水遊びができる公園
- ⑤ 子ども食堂

の地図を、班に分かれて作りました！



ミッション2 完成したマップを見てどう思うかな？ 気付いたこと、感じたこと、思ったことを出してみよう！

🍎 みんなが考えた内容は…



- ① 児童館・ゆう杉並
学校や公園の近くにありアクセスがよい、位置が偏っている、ゆう杉並が1か所しかない など
- ② 子ども・子育てプラザ、図書館
子ども・子育てプラザが少ない、学校の近くに図書館がある、図書館は全体的に散らばっている など
- ③ ボール遊びができる公園
小さい公園が多い、公園の中でもボール遊びができる公園は少ない、川の近くには少ない など
- ④ 水遊びができる公園
川や池の近くに多い、小学校や児童館の近くに多い、少ない地域がある など
- ⑤ 子ども食堂
繁華街の近くに多い、駅のまわりや線路沿いに多い、北側に偏っている など

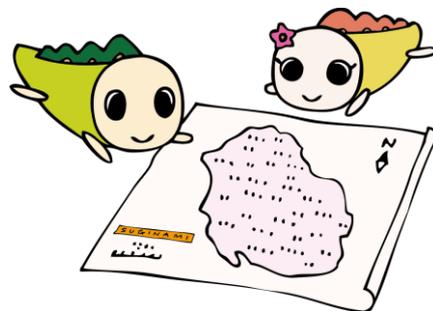
ミッション3 みんなが作ったマップを重ねてみよう！ 班ごとに作ったそれぞれの居場所のマップを重ねると、何がみえてくるかな？ 言いたいことはあるかな？ 話し合ってみよう！



マップを重ねて見てみよう～



自分の気持ちや思いを共有したよ！



🍎 重ねたマップを見て、みんなが感じたこと・出してくれた提案

- ボール遊びできる公園が水遊びできる公園より少ない。ボール遊びできる公園を増やしてほしい。
- 小さい公園より大きい公園を増やしてほしい。(大きいコミュニティ)
- 施設それぞれの要素を総合してほしい。
- ゆう杉並のような所をもっと作ってほしい。(少し小さくてもめっちゃあそべる所)
- 子ども食堂が南側に少ない。ふやしてほしい!
- 子ども食堂のことを知らなかった。知らせるようなポスターを作って貼るといい!
- たくさんある場所とあまりない場所がある。地域ごとに偏りがなくなるべき。
- 特別支援学校が南側に集中している。北にもあれば、北の方に住む子の移動の負担が減る。
- 特別支援学校の近くに児童館が少ない。みんなで楽しくあそびたい! など

🍎 班のみんなで話し合ったあと、全体に向けて発表しました!



重ねた地図から気付いたことや意見をたくさん出してくれたね!

4 最後に

今回は、「子どもの居場所」について、ワークや発表を通して理解を深めました!

第4回の子どもワークショップでは、「子どもの権利と子どもの居場所について」のワークをする予定です。

令和6年

6月1日開催

第4回の内容



子どもの権利について‘もっと’考えてみよう!!!

内容

「子どもの権利」や「子どもの権利条例」についてみんなで考えたよ

第4回目の子どもワークショップを6月1日に開催したよ。33人の参加者とのむさん(野村先生)と一緒に「子どもの権利」や「子どもの権利条例」の大人の役割について考えたよ。今回は、当日の内容を紹介するね!

当日の流れ

1. アイスブレイク 「名前集めゲーム」
2. 前回までの復習 「ブランコの話」
3. ハナちゃんとボビーによる寸劇
「大事なものを貸したけど…」
4. グループワーク
「権利のためには何が必要？」
5. 動画視聴 「ねこちゃん」 「サッカー」
6. 第2回の復習 杉並区が子どもに約束する
「子どもにとって大切な権利」
7. 「子どもにとって大切な権利」を踏まえて
「大人がしなければならないこと」
8. グループワーク
大人が考える
「大人がしなければならないこと」
を見てみよう

1. アイスブレイク

「名前集めゲーム」

- ① 紙とペンを用意
- ② 会場内の参加者同士でじゃんけん
- ③ 負けた人は勝った人の紙に名前を書く
- ④ 制限時間内でより多くの人の名前を集めたら勝ち
- ⑤ 最後に一番多くの名前を集めた人が、集めた名前を発表



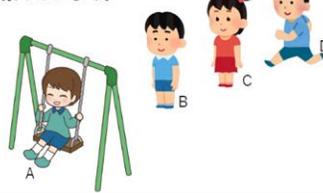
大人も一緒にじゃんけんしたよ

子どもも大人も一緒に盛り上がったよ! 3分間で12人の名前を集めた強者も

2. 前回までの復習

「ブランコのお話」

Aさんが、公園につしかなないブランコに乗っています。



- ・ Bさん、Cさん、Dさんはブランコに乗る権利がある?
- ・ Aさんはどうしたらいい?



どっちにも権利があるというとき、相手の権利を考えることが必要な時がある。

3. ハナちゃんとボビーによる寸劇

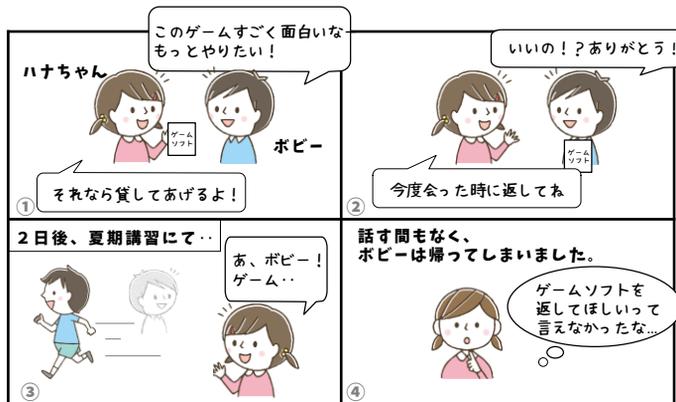
「大事なものを貸したけど…」

(あらすじ)

明日から夏休み、みんなウキウキしています。

ボビーはハナちゃんから、大切にしているゲームを借りました。

当日の劇を漫画にしてみたよ!
右の絵を見てみよう!



2人の言い分



「今度会った時返して」って約束したから返してほしいな
あたしもあのゲームをやりたいのに...

ハナちゃん

夏休みの間借りられると思ってた
かきこうしゅう
夏期講習でハナちゃんに会う予定
じゃなかったから返すつもりじゃなかったよ



ボビー

まとめ

ハナちゃん  には、ゲームを返してもらう“権利”があります。

ボビー  には、ゲームを返す“義務” ^{ぎむ} があります。



それぞれに言い分があるとき、
権利を持っている人が求めず、義務がある人がなにもしなければ、
権利がないのと同じことになる。

権利 = 「求めることができる」(「返して」って言うことができる)

義務 = 「しなければならない」(返さなければならない)



ハナちゃんが「返して」と言わず、ボビーが返さない。そうすると
ハナちゃんにある、ゲームを返してもらう“権利”は、ないのと同じになってしまうのじゃ！

じゃあどうしたらいいの？

ボビー(義務がある人)に返してもらえるまで、**何度もハナちゃん(権利を持っている人)は求めるのじゃ！**

それは、大変だよ...

そう！ハナちゃん(権利を持っている人)は、ボビー(義務がある人)が求めに応じてくれないと「つらい」んじゃ
「つらい」時は、だれか(先生など)に助けを求めて、よい解決方法を見つけてもらうのじゃ



4. グループワーク

4つの権利分類シートを使って、
グループで考えよう



4つの権利分類シート

子どもの権利のためには何が必要？考えてみよう



「何が必要か」をグループで考えて



グループごとに発表したよ



発表で出た意見を一部紹介 ^{いちぶしょうかい}

- ・ 経済的な理由で、衣食住や希望の進路の制限を受けない
- ・ 大きすぎる不安(ヤングケアラー等)から守られ、好きなこと、勉強ができる時間が確保されていること
- ・ 自分の意見を聴いてもらえる人・環境(両親、カウンセラー、自分を理解してくれる人、アンケート、雰囲気等)
- ・ 子どもの意見が反映される仕組み
- ・ 嫌な思いをしたときに、親や友達にばれることなく気軽に相談できる場所
- ・ そもそもつらい思いをしない環境

5. 動画視聴 ^{どうがしちゆう}

「ねこちゃん」「サッカー」(東京都が作成した動画)を見て「子どもの権利」を考えよう



みんなで動画を見たよ

動画はココから見るることができるよ▼

動画を見て、次のことをみんなで考えよう

- ・ 何が大切というお話かな？
- ・ この後、どうなると思う？
- ・ 子どもの意見のために何が大切？

Youtube

東京都
せいざくけんけいしつ
子供政策連携室
チャンネル

「ねこちゃん」



「サッカー」



「子どもの権利」を守るためには、
「大人がどうするか」というのがとても大事

6. 第2回ワークショップの復習

杉並区が子どもに約束する「子どもにとって大切な権利」

第2回のワークショップで取り組んだ『大人*が考えた「子どもにとって大切な権利」についてグループで考えてみよう』の際に使用したワークシートの結果をまとめたものを使って、主な「6つの子どもの権利」についてふり返りを行ったよ
 (*子どもの権利擁護に関する審議会委員)



第2回ワークショップ使用したワークシート

「6つの子どもの権利」

- ① 安心して生きる権利
- ② 自分らしく生きる権利
- ③ 育つ権利
- ④ 意見を聴かれる権利
- ⑤ 守られる権利
- ⑥ 個別の必要に応じて
支援を受けられる権利

覚えてるかな？



他の人の意見を見て振り返ったよ

7. グループワーク

「子どもにとって大切な権利」をふまえて、大人がしなければならないことを考えよう

「6つの子どもの権利」を実現したり、守っていくために、「大人」がしなければならないことを場所ごとに考えたよ (ワークシート①)

「場所ごと」って？

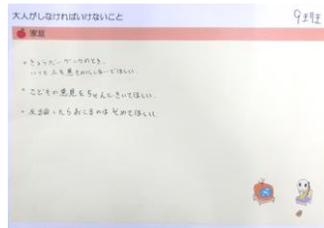


同じ大人でも、お父さんやお母さんにやってほしいこと、学校の先生にやってほしいことと違ってくることもあるよね。そこで、大人*が考えた子どもがいる場所ごとに「大人がしなければならないこと」を考えてもらったよ。(*子どもの権利擁護に関する審議会委員)

〈場所〉

- 家庭 (保護者)
- 地域
- 【育ち学ぶ場所】
- 区
- ・ 学校
- ・ 児童館
- ・ 図書館

ワークシート①



内容を別紙にまとめたよ!



場所ごとに考えて記入



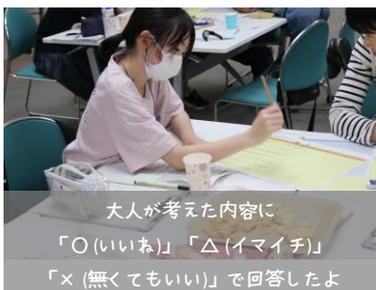
グループでまとめたシートを発表



8. グループワーク

大人*が考える「大人がしなければならないこと」を見てみよう

「皆が考えた『大人がしなければならないこと』」(ワークシート①)と、「大人*が考えた『大人がしなければならないこと』」(ワークシート②)の内容を比べてみて、「大人が考えたもの」に足りないものがないかグループのみなで確認したよ。
 (*子どもの権利擁護に関する審議会委員)

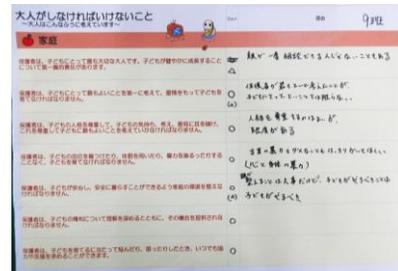


大人が考えた内容に
「○(いいね)」「△(イマイチ)」「×(無くてもいい)」で回答したよ



書いてある内容が難しいところは大人(グループに入った区の職員)に教えてもらいながら考えたよ

ワークシート②



内容を別紙にまとめたよ!

どうしたら「子どもの権利」が守られるかを考える時に参考にしよう!



ワークショップで出した意見は「子どもの権利擁護に関する審議会」の大人に伝えるよ!

次回予告

次回、第5回子どもワークショップは、**7月14日(日)**です。

「子どもの居場所づくり基本方針」について、ワークをする予定です。

